

青丘文庫研究会の飛田雄一です。みなさん、コロナの収束がなかなか見えず不安な毎日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

次回2月14日（日）の研究会は初めてのZOOMでの開催となります。（開始時間が変更になっています。ご注意ください。3月の研究会は青丘文庫での開催を予定しています）

<https://us02web.zoom.us/j/4628131887?pwd=RTFzYjhPeEtCdWNkcnlTWndCSHdkdz09>

ミーティングID: 462 813 1887

パスコード: 4FweUj

初めての方はとまどうかもしれません、このアドレスをクリックすると、飛田に連絡が入り、飛田がOKすると「入室」です。ミーティングID、パスコードの入力は不要です。パソコンにカメラのない人でも音声だけで参加することができます。

---

#### 青丘文庫研究会ご案内<ZOOM>

---

日時：2021年2月14日（日）<ZOOM開催>、

※開始時間にご注意ください。

1) 在日朝鮮人史運動史研究会、午後3時～4時半、

「日米安全保障条約と日韓議定書——中野重治における朝鮮認識の転換の起点」) 廣瀬陽一

2) 朝鮮近現代史研究会、午後4時半～6時

「安重根の東洋平和構想に関する一考察——

獄中口述記録「聴取書」をめぐる研究動向を中心に」

勝村誠

---

#### <研究会の予定>

3月14日（日）、在日（高木伸夫）、近現代史（仲村修「木浦の涙」作詞者について）

4月11日（日）、在日（白 凜）、近現代史（朴洸弘「植民地期に日本軍人だった朝鮮人が受けた軍隊教育の影響について」）

5月9日（日）、在日（金明秀「レイシャルハラスメント：概念の輸入から現状まで」）、近現代史（未定）

6月13日（日）、在日（休み）、近現代史（①金早雪「韓国地域福祉と感染症対策の小史」、

②李恵子「『濟州・美しさのかなた』（李恵子訳、キンドル版）について」）

7月11日（日）、在日（①福本拓、②安岡健一）、近現代史（休み）

8月は休みですが、

第9回在日朝鮮人史日韓合同研究会を8月7日（土）から8日（日）、神戸などで開催の予定です。

9月12日（日）、在日（瀬戸徐映里奈）、近現代史（未定）

10月10日（日）、在日（未定）、近現代史（未定）

11月14日（日）、在日<神戸映画資料館で？映画会>、近現代史（休み）

12月12日（日）、在日（未定）、近現代史（未定）

※発表希望の方は、水野直樹または飛田雄一 hida@ksyc.jp に連絡ください。

<その他のご案内>

(1) 2021年2月20日、第13回真相究明ネット研究集会富山ZOOM

<https://ksyc.jp/sinsou-net/20210220toyamaZOOM.pdf>

(2) 日帝強占下強制動員被害真相究明委員会編

日帝強制動員被害者支援財団・日本語翻訳協力委員会訳

企画・発行：日帝強制動員被害者支援財団

日本語冊子（2020年12月発行）

1. 日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書⑤

口述記録集『我が身に刻まれた八月 広島・長崎強制動員被害者の原爆体験』

A5 601頁 2020.12（韓国語版 2009年）

2. 日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書⑥

口述記録集『聞こえてる？日本軍「慰安婦」12人の少女の物語』

A5 414頁（韓国語版 2013年）

3. 日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書⑦

図録『写真で見る強制動員の話－日本・北海道編－』

B5 変形判 182頁 2020.12（韓国語版 2009年）

4. 日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書⑧

報告書『南洋群島への朝鮮人労務者強制動員実態調査』

A5 105頁 2020.12（韓国語版 2012年）

5. 日帝強制動員被害者支援財団翻訳叢書⑨

報告書『端島炭鉱での強制動員朝鮮人死亡者実態調査（1939～1941）』

A5 158頁 2020.12（韓国語版 2009年）

※強制動員真相究明ネットワークで取り扱います。非売品ですが、

翻訳委員会基金カンパとして、端島・南洋は500円程度、北海道・慰安婦・原爆は1000円程度のカンパをお願いしています。5冊セット（4000円、送料込み）での受け渡しにご協力ください。

※2月中旬以降の発送になります。申し込みは飛田雄一 hida@ksyc.jp

(3) 2021年3月 東アジアキリスト教交流史研究会ご案内<第1報>

1)日程：2021年3月20日（土）午後1時30分～5時

2)会場：立命館大学社会システム研究所およびZOOM

3)記念講演

井田泉 「『日韓キリスト教関係史資料集』を完結して」（仮題）

4)研究発表（3本を予定しています。）

5)申し込み：2月20日までに氏名と発表予定タイトル、発表要旨（A4用紙1枚程度）をお送りください。研究発表時間は30分以内です。飛田雄一

hida@ksyc.jp または、金丸裕一 kanemaru@ec.ritsumei.ac.jp にお送りください。

6)ZOOMでの参加の方は、飛田雄一 hida@ksyc.jp まで申し込みください。ZOOMアドレスをお知らせします。

7)主催：東アジアキリスト教交流史研究会（代表徐正敏）

・立命館大学社会システム研究所

(4) 飛田『極私的エッセイ－コロナと向き合いながら』

(社会評論社、2021年2月、1600円+税)

<https://ksyc.jp/mukuge/hida-syahyou-mokuji.pdf>

直送します。送料とも1600円。郵便振替用紙を同封して送ります。